



いの町は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

# THE 地方創生 WEEK

## 高知県 いの町

### 企業版ふるさと納税 マッチング会

2023.2.9（木）

5月3日から5日まで開催される  
『仁淀川 紙のこいのぼり』



# 水のまち、心地よいまち、 自然と素になって遊べるまち 高知県いの町です！！

## ■いの町の誕生

平成16年10月 伊野町、吾北村、本川村が合併

## ■南は県都高知市、北は愛媛県西条市と隣接

## ■面積：470.97km<sup>2</sup>（森林率 約90%）

## ■人口：21,374人（R2国勢調査）

伊野エリア 19,103人

吾北エリア 1,876人

本川エリア 395人

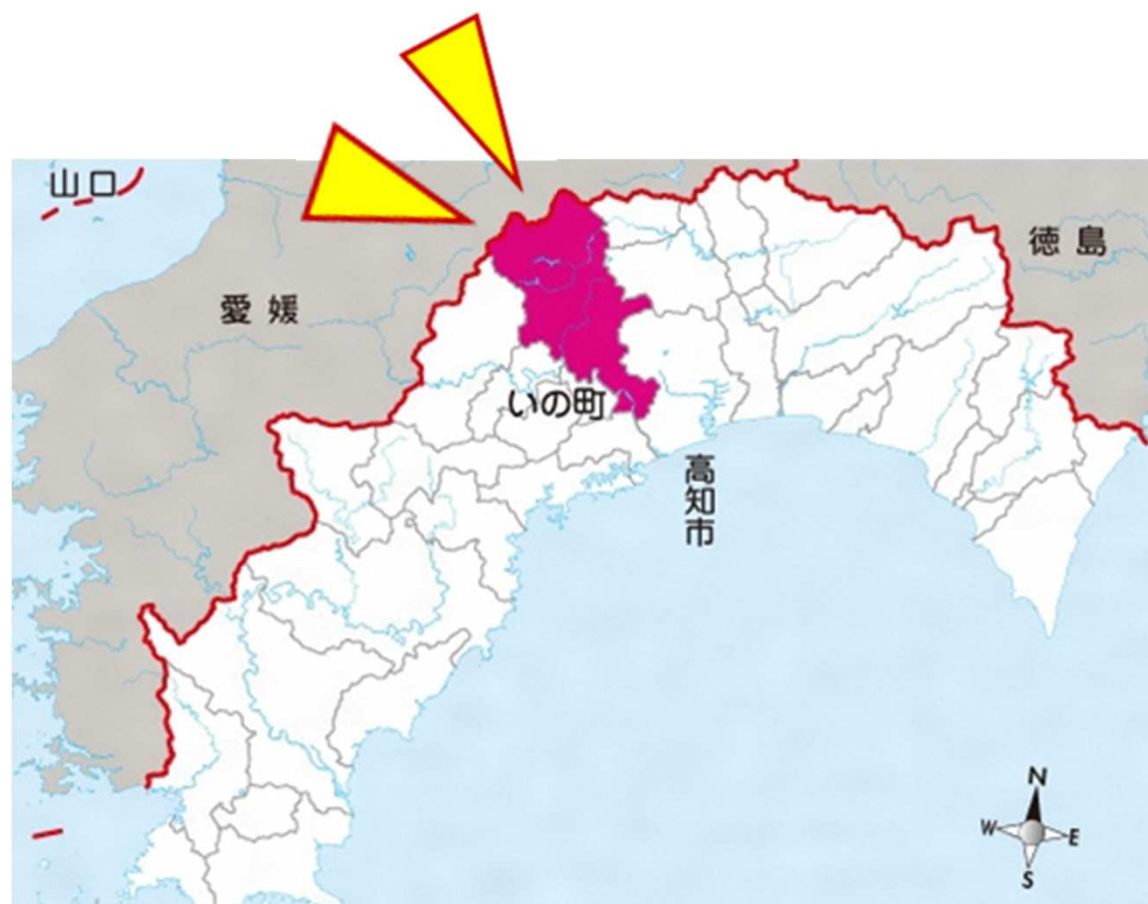
## ■山・川の豊かな自然に恵まれたまち

「清流日本一に輝いた仁淀川」

「四国三郎 吉野川」

石鎚国定公園「瓶ヶ森」「寒風山」

川遊び・山遊びにぴったり！！



UFOライン



にこ淵



仁淀川





## 課題

### 生産年齢人口（15～64歳）の減少

- ▶2010年 14,622人 → 2020年 10,725人 10年間で約4,000人減少
- 2020年から2045年にかけて61%減少すると示唆（RESAS）
- まちの持続が困難！！

## 原因

### 雇用・職種の選択肢が少ない

- ▶第一次産業・第二次産業（土木業）が主流
- 特に若い世代が流出・流入の疎外

## 解決策

### 新たな産業・雇用・関係人口の創出

- ①新規事業開発等、創業者の夢を形にするための支援（ソフト・ハード両面）
- ②ファン（関係人口）による資金的支援や新たな事業展開





# 高知県のいの町プロジェクト

総事業費：48,506千円

## 「いの町」ならではの地域資源や地域課題を活用した新たなローカルビジネス及び関係人口の創出

**概要** 新たな雇用創出を目的とし地域資源（自然・遊休施設等）を活用した創業により、持続可能なまちを目指します（R5~R7 3ヵ年事業）

### 【1年目】ブランディング 〔興味を惹きつける戦略づくり〕

- 当町のポテンシャル分析・課題抽出
- 地域資源の洗い出し
- モニタープログラム開発・実践



仁淀川



休校舎（受け皿）



プログラム開発

### 【2年目】プロモーション 〔選ばれるまちを目指す〕

- 個人・法人向けプロモーション活動
- 創業希望者公募
- 事業化に向けた調整・支援



### 【3年目】実装支援 〔当町に根付くためのサポート〕

- 構想した事業実現に向けた伴走支援
- 自走化構築
- オンラインPRセミナー実施
- 新たな挑戦者の公募



**事業効果** 雇用創出、産業活性化、空き家対策、デジタル化推進、関係・交流人口増加、クリエイティブな発想による事業展開  
生産年齢人口の増加、地方創生に向けたパートナーシップ構築

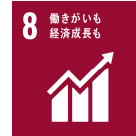
## 創業希望者の夢を形にし、持続可能で「可能性を感じられる」まちを実現

### 企業に求めるもの

- ✓ 「プレイヤー」や「サポーター」としての参画
- ✓ 企業版ふるさと納税による経済的支援
- ✓ 創業希望者等の情報提供
- ✓ 本プロジェクトの情報発信・横展開
- ✓ プロジェクトに対するノウハウの提供
- ✓ デジタル人材・技術の提供
- ✓ ワーケーションの利用（地域住民との交流）

### 企業のメリット

- ✓ SDGs・社会貢献企業としてのPR  
（感謝状贈呈、HPや広報誌、セミナーでの紹介、銘板設置）
- ✓ 新規事業開発が可能
- ✓ 地域課題解決への参画による地方創生への貢献
- ✓ 企業版ふるさと納税制度による税負担の軽減



### 【連絡先】

高知県のいの町総合政策課 門脇  
 TEL：088-893-1112  
 MAIL：ta-kadowaki@town.ino.lg.jp